

高岡地域共生あっこりプラン（第3期高岡市地域福祉計画 令和3年度～8年度）

～みんなで支え合い、みんなが『あっかり』して生活できる地域共生社会を目指して（概要版）～

## はじめに

高岡市地域福祉計画とは

- 全ての人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる「地域共生社会」の実現のため、地域福祉推進の理念や福祉ビジョンを定めつつ、その基盤や体制づくりなどの総合的な方向性を示すもの。

## 地域福祉における課題

## 地域福祉を担う人材と地域の活動における課題

- 地域福祉の担い手が不足している。
  - 地域の活動は、年齢や属性、目的別に様々な事業を開催しており、負担が大きい。
  - 介護・福祉・看護人材の育成・確保が必要

## 福祉関係団体ヒアリングの結果が

- 地域で孤立し、支援につながらないケースがある。
  - 福祉教育、地域における世代間交流や居場所づくりが必要である。

- 国の施策方針

- 制度、分野の『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が分野を超えて『丸ごと』つながることで一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく『地域共生社会』の実現を目指す。
  - 成年後見・再犯防止施策を市町村で推進する。

- 成年後見・再犯防止施策を市町村で推進する。

## 地域福祉推進のための施策の展開

## 基本目標 1 助け合い、支え合 える地域を作ろう (地域づくり)

- 1 地域での見守り・声かけ体制づくり**
    - (1) 民生委員・児童委員、自治会、ボランティア等の見守り活動の推進
    - (2) 見守り体制の充実
  - 2 安全・安心の地域づくり**
    - (1) 災害時における要配慮者への支援体制の充実
    - (2) 誰もが暮らしやすい環境づくり
  - 3 誰もが集える場所・機会づくり**
    - (1) 地域交流・地域福祉活動の拠点（場）づくり
    - (2) 地域活動への参加・交流のための情報提供

地域を基礎と  
視点の施策

  - 地域の担い手
  - 地域福祉活動  
づくり

## 基本目標 2 みんなの暮らしは みんなで支えよう (仲間づくり)

- 1 地域福祉に対する意識の醸成**
    - (1) 権利擁護に関する普及啓発
    - (2) 地域や社会における福祉教育の推進
  - 2 地域福祉を支える人づくり**
    - (1) 地域福祉活動に新たに参加する人材の発掘
    - (2) 地域福祉を推進する人材の育成
    - (3) 福祉・看護の専門人材の育成・確保
  - 3 ボランティア・NPO活動の促進**
    - (1) 参加と交流が生まれる環境づくり
    - (2) 情報の発信と収集がしやすい環境づくり

## 基本目標 3

- 1 福祉サービス・保健事業の充実と適切に利用できるしくみづくり**
    - (1) 福祉サービス・保健事業の充実と適切な利用の促進
    - (2) 福祉・保健相談窓口での切れ目のない支援の実施
  - 2 自立と社会参加を進める体制づくり**
    - (1) 生活困窮者支援の充実
    - (2) 成年後見制度の利用促進に向けた取組み
    - (3) 再犯防止に向けた取組みの推進
  - 3 相談体制の充実・あらゆる福祉課題に対応する包括的で重層的な相談・支援体制の強化**
  - 4 高岡型地域福祉ネットワークの推進**

## 地域共生社会の実現に向けた高岡型の包括的で重層的な相談・支援体制イメージ図

=マルチアクセスで課題を丸ごと受け止め、重層的なネットワークで解決する=

